

| 優先順位 | 改善項目 |    | 改善目標  | 改善に向けた計画内容   | 期間         | 評価(平成18年3月6日現在)   |
|------|------|----|---|--|------------|---|
|      | 自己   | 外部 |   |  |            |   |
| 1    | 27   | 22 | 職員は、常に利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応を行わない。           | 職員は、ご本人の話を聞いたり、個別に対応することはできているが、脱衣所やトイレ等、共同で利用する場所においても、個々のプライバシーを守る配慮をする。 | 随時         | 利用者ご本人は慣れていらっしゃるかもしれないが、トイレの戸を開けっ放しの時等には、職員はさりげなく閉める等の配慮が必要である。 |
| 2    | 33   | 26 | 職員は、利用者一人ひとりが自分で決めたり希望を表したりすることを大切に、それらを促す取り組みを日常的に行う。        | 職員は、利用者の意見や気持ちを大切に出来るよう努めているが、意見の表出ができてくれない方が決めたり選んだり出来るような場面を作る。          | 随時         | 個々の決めたり選んだり出来るような機会を増やして行き、生活の自信や活力につなげて行きたい。                   |
| 3    | 6    | 5  | 気軽に入れる玄関まわり等の配慮をする。   | 玄関まわりが殺風景に感じられる為、家庭的な雰囲気が出るような飾りつけ等を工夫したい。                                 | 訪問調査後より    | 職員で話し合い、リーダーを決め実行中である。  |
| 4    | 123  | 66 | ご家族が気がかりなことや、意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談できるように、面会時の声かけや、定期的連絡等を積極的に行う。 | ご家族の来訪時に、要望等を聞くようにしているが、来訪の少なめのご家族に対しても気軽に要望が聞ける機会を持ちたい。                   | 面会時や家族会時他  | ご家族に対し、月一回写真入りで暮らしぶりを報告したり、遠方でお住まいのご家族に対しても再度電話でお伝えするよう努めている。   |
| 5    | 117  | 63 | 事故発生後には、職員全員にて再発防止の話し合いをし、今後に活かす意義づけを行う。                      | 現在大きい事故は起きてはいないが、事故報告書を記入する場合は、職員全員での話し合いを持ち再発防止に取り組む。                     | その都度       | 話し合いの後に作成する報告書に職員全員のサインも入れる。                                    |
| 6    | 133  | 71 | 利用者の生活の安定や拡がりのために、周辺地域の方々から協力を得る事ができ、理解を拡げる働きかけをする。           | 地域の方々気軽にホームへ立ち寄りていただけような雰囲気作りをする。  | その都度       | 散歩等に出かけた際の地域の方々との会話を増やす。警察や消防署へも協力を得ることができるよう働きかける予定である。        |
| 7    | 120  | 65 | 相談や苦情を受け入れるホーム側の窓口及び職員を明確にし、その利用方法を家族等に伝える。                   | 職員との会話は多くても苦情は言い出しにくいものであることから、ホーム以外にも苦情を受け付ける機関があることを利用者及びご家族に伝える。        | その都度       | 面会時等の会話の中でご家族の苦情が聞けるよう努める予定である。                                 |
| 8    | 101  | 55 | 職員が成年後見制度等を理解し、活用を推進していく。                                     | 職員が制度について理解し活用できるようになる。  | 年間に行われる会議時 | 早速講師を招いて、勉強会を行う予定である。   |
| 改善済み | 25   | 20 | 職員は申し送りや情報伝達を確実にし、重要な点はすべての職員に伝わる仕組みにする。                      | 確実な申し送りはしていたが、再度確認のためサイン制にし、重要な事項の伝達漏れを防ぎ事故を防止する。                          | 訪問調査後より    | 業務日誌へは、各ユニットごと職員全員のサインを入れるようにした。                                |
| 改善済み | 56   | 37 | 利用者一人ひとりの希望に合わせて理美容院等の利用を支援する。                                | 一人ひとりの好みやこれまでのおしゃれの習慣にも個別に支援すると共に、外へ出かける機会を作ることもつなげていく。                    | 随時         | 未だ、理美容院の利用を拒否している利用者においては職員が支援しているが、徐々に理美容院の利用を行っている。           |